

(定例・個人) 個人

(報告:伊藤)

山(山域・ルート) 両神山系、西岳新道經由西岳、尾の内溪谷下山

【日時】18年 5月1日(月)～ 月 日()(泊日)

【メンバー】

伊藤

(計 1 名)

【行動記録】

尾の内溪谷駐車場(05:00)－現在の西岳
新道と思われる取り付き(05:20)－
送電線下(06:05)－1074M付近
(06:40)－舟ガババ(08:40)－
西岳(09:30)－龍頭神社(10:05)－
地獄穴(11:10)－油滝(11:20)－
尾の内溪谷駐車場(12:40)



上り 約4時間30分 下り 約3時間

【装備・食料等】

食料、ザイル(8M x 20M)、雨具、その他

.....
【感想】

アカヤシオを見に、旧西岳新道から登頂しました。先ず尾の内溪谷の駐車場に車を止め、少し下山する感じで国道299号へ向かいます。登山口は無いので東京電力の作業道から入山します。ジグザグの道を急登すると緩やかな尾根に取り付き、目標の送電線下に到着。しばし休憩後、更に上を目指します。その昔、この尾根も一般登山道だった名残を残しており古い道標を確認できます。不明瞭な尾根を注意深く進み途中、昔の作業小屋や残骸を確認し、夢見台と呼ばれるピークに到着。この辺りから両神山系らしい岩尾根となり注意が必要になりますが、さっそく道を見失ってしまいました。誤って下ってしまった尾根で再度冷静に辺りを見回すと古い道標を発見、直ぐに上り返します。この様なことを繰り返しながら、段々と其れらしい斜度と急な岩場の連続になり、気を抜けない状況となりました。左手には大キギの勇姿を見ることが出来ますが、味わっている余裕はありません。舟ガババの両サイド切れ落ちている

斜面を登りきると、目の前には東岳、西岳、行蔵坊ノ頭がこちらに倒れてくるようにそびえ立っています。此処から絶壁の鎖場を下り最後の急斜面を這い上がると、八丁尾根上の西岳の横に到着。小休止後、剣が峰方面に進み龍頭神社裏の尾の内溪谷へ進みます。いきなり鎖の連続で一気に100Mくらい下り、キンササゲ、ヒンマワシの水場を通過していきますが、足場が悪く思ったように距離が稼げません。踏跡を辿り如何にか目印の地獄穴に辿り着き、此処からは道は明瞭となり、次の目的地の油滝からは尾の内沢沿いに順調に進みます。尾の内溪谷はあまり知られていないようで、それ程人の手が入っておらず手づかず自然が残されていて、とても気持ちの良い所です。あとはゆっくりと散策をしながらゴールの吊橋を渡り駐車場へ。この日は、30度の真夏日となり少々難儀しましたが、ハードな尾根や溪谷美を楽しめた一日でした。